

北九州市民の会ニュース

終戦記念日にあたって

日本共産党書記局長 小池晃

2019年8月15日



74回目の終戦記念日にあたり、日本軍国主義による侵略戦争と植民地支配の犠牲となった内外の人々に深い哀悼の意を表します。いま日本は、戦争の惨禍と反省から生まれた世界に誇る宝・憲法9条を

守るのか、改憲を許してふたたび「戦争する国」にしてしまうのかの歴史的岐路に立っています。不戦の誓いを新たにこの日にあたって、9条を守り抜き、9条を生かした外交で平和な日本と北東アジアをつくるために全力をあげる決意を新たにします。先の参院選で、自民、公明、維新など改憲勢力を3分の2割れに追い込むという重要な成果をあげました。選挙後の各種世論調査でも、安倍改憲反対が賛成を大きく上回っています。にもかかわらず、安倍首相が、「残された任期の中で憲法改正に当然挑む」などと、民意を無視した改憲に、前のめりの姿勢を崩していないことは重大です。安倍改憲の狙いが、海外での無制限の武力行使を可能にし、米国との“血の同盟”づくりにあることは明白です。すでに、安保法制＝戦争法が施行され、自衛隊が米軍とともに海外で戦争する体制づくりがすすんでいます。国民の世論と運動をさらにひろげ、安倍改憲策動に終止符を打とうではありませんか。北東アジアの平和構築にとっても、アジア諸国民との友好と良好な経済関係にとっても、日本政府が、過去の侵略戦争と植民地支配の過ちと向き合い、真剣に反省する立場にたつことがいよいよ重要になっています。(中略)

日本共産党は、侵略戦争と植民地支配に命がけで反対を貫いた党として、日本とアジア諸国との平和と友好を実現するため力をつくすものです。

戦争展第8回実行委員会

8月10日(土)、1週間後に本番を迎える戦争展の最後の実行委員会が開かれた。青年企画も決まり、KOH青年も初めて実行委員会に参加

した。すべての企画を確認し、当日の集合から準備の人員配置まで詳細に検討決定した。3月6日(水)に「第25回平和のための戦争展in北九州」第1回実行委員会を開催してから8回の実行委員会を重ねた。いよいよ本番だ。



「2019年平和のための戦争展in北九州」特集

8月17日・18日 コムシティ(黒崎)

オープニングは平和のうたごえ

8月17日(土)13:00、こどもの館で、戦争展メイン企画が開幕。実行委員長挨拶後のオープニングは北九州うたごえの皆さんによる平和のうたごえ。

「民衆の歌が聞こえるか」「大地讃頌」「さとうきび畑」「今、この時代に」の4曲。素晴らしく美しいハーモニーが会場に響きわたる。「うたごえは平和の力」であることが心にも響く。



記念講演：熊野直樹九州大学教授

圧巻の講演だった。「麻薬と第2次世界大戦～忘れられた平和に対する罪～」と題して日本の麻薬政策といわゆる「大東亜共栄圏」との関係を説明。

日本が占領した南方地域の財政は、アヘン専売制によって維持されていたこと、硫黄島にはコカインが大量に栽培



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F

TEL093-592-5000 FAX093-571-4346

<http://siminnokai.sakura.ne.jp>

e-mail:koe@siminnokai.com

されていたこと、日本とナチス・ドイツとの間で直接コカの取引がなされていたこと、かくて「大東亜戦争」なるものが、その実態は「大東亜アヘン戦争」であったことを最新の研究成果をそのまま発表して解明された。詳細なデータと事実で驚愕するとともに、知的刺激を受けて驚嘆し、約150名の参加者は、ただ聞き入った。

青年が「戦争と情報」を語る

8月18日(日)13:00~13:45、KOH0の青年がパワーポイントによって、「戦争と情報」について見事なプレゼンテーションをした。

- 戦争はなぜ起こるのか
- 戦争と情報はどのように関係しているか
- 戦争展に若者の参加を増やそう

侵略戦争の歴史を短期集中で、よく調べられ、自ら考え、知識を整理し発表された。情報操作で国民総動員体制が強制されたことなどを、論理明快、ユーモアや問いかけもしながらみごとなプレゼン。現代はインターネットの時代。SNSを使い、もっと青年に広報し工夫すれば来年からは、より多くの若者が戦争展に参加するようになる結論した。戦争展参加者に勇気と希望を与えてくれた。



現代はインターネットの時代。SNSを使い、もっと青年に広報し工夫すれば来年からは、より多くの若者が戦争展に参加するようになる結論した。戦争展参加者に勇気と希望を与えてくれた。

4名の戦争体験者が語る

それぞれの戦争体験を生々しく語っていただき、戦争の悲惨さを歴史の真実として心に焼き付けることができた。



- 原田育子さん：NHKで放映されたDVDを鑑賞
- 南嘉久さん：長崎原爆でわが子を失った父から語り継がれた体験
- 川本次夫さん：八幡大空襲を逃げ生き延びた小学1年生が見た戦争
- 西健一郎さん：朝鮮からの引き上げと終戦後の貧困生活

写真・展示が語る歴史の真実

広々とした黒崎ギャラリーには、これまでをしのぐたくさんの戦争遺品・展示・写真が、それぞれのセクションに並べられ、加害と被

害の過酷な歴史の真実を伝えた。たくさんの市民の方が戦争展をじっくり観られ、それぞれの思いを胸に秘められているようだった。

- 原爆と原発・原爆パネル写真
- 村瀬守安中国戦線従軍写真
- 中学生のための従軍慰安婦展
- 重慶無差別爆撃・捕虜収容所写真
- 西山進マンガ・辺野古埋め立て展示
- 平和資料館の戦時資料・焼夷弾、騎兵銃等の武器



ご苦労さん、実行委員会

2日間の戦争展は、市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを歴史の真実をとおして語り継ぐことができた有意義なイベントとなりました。ご参加の皆さん、ありがとうございます。展示、会場をすべて片付け、残った実行委員で写真をパチリ。

- 門司港周辺戦跡めぐり
集合場所：門司港駅前・噴水広場
集合時間：8月25日(日)13:00
- 戦争展総括会議・ご苦労さん会
日時：10月8日(火)18:00

